

令和7年度使用

中 学 校 教 科 用 図 書 の
選 定 に 必 要 な 資 料

出雲採択地区教科用図書採択協議会

※ 各発行者記号は、以下のとおりである。

記号	発行者名	記号	発行者名
A	東京書籍株式会社	L	株式会社新興出版社啓林館
B	大日本図書株式会社	M	株式会社山川出版社
C	教育図書出版株式会社	N	数研出版株式会社
D	開隆堂出版株式会社	O	日本文教出版株式会社
E	学校図書株式会社	P	株式会社 G a k k e n
F	株式会社三省堂	Q	株式会社自由社
G	教育出版株式会社	R	株式会社育鵬社
H	株式会社教育芸術社	S	株式会社学び舎
I	光村図書出版株式会社	T	あかつき教育図書株式会社
J	株式会社帝国書院	U	日本教科書株式会社
K	株式会社大修館書店	V	令和書籍株式会社

選 定 に 必 要 な 資 料

【 科目名 英語 】 No. 1

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1. 内容、程度、分量等	2. 題材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5. 各教科等及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
A	<p>○Let's Readや1年生のUnit5以降のRead and Thinkなど説明文や物語文など目的に応じて読み取り方を工夫できるような内容になっている。</p> <p>○学年があがるごとに題材が個人のことから社会的な事柄へと変化しており、発達段階に応じた学習内容になっている。</p>	<p>○見通しをもって学習に取り組めるように、Unitの初めにGOALが明確に示され、学んだ内容を生かして4技能を統合的に活用しながら取り組めるUnit Activityが設定されている。</p> <p>○1年Unit4までは小学校との接続を意識しコミュニケーション活動が取り入れられるように工夫されている。</p>	<p>○表紙裏に掲載されているデジタルマップを用いて世界や日本の情報を得ることができ、Unitの学習への活用だけでなく、生徒が自ら関心のある地域の情報を英語で読み学習することができる。</p> <p>○デジタルコンテンツが充実しており、発音だけでなく文法の解説動画やクイズなどにも取り組めるように工夫されている。</p>	<p>○巻頭の学習の見通しや巻末のCAN-DOリストなどに身につけたい力が示されており、生徒が自らを振り返りながら学習が進められるように工夫されている。</p> <p>○巻頭の学び方コーナーやGrammar for Communicationでは、学習の仕方やポイントが簡潔にまとめられており、生徒の学習支援につながっている。</p>	<p>○Learning ~ in Englishのページでは、国語や理科、社会、技術家庭科、美術など幅広く教科横断的な学びができるように工夫されている。</p> <p>○防災や安全、SDGsや多様性に関する題材を幅広く取り上げ、生徒が日常的にそれらのテーマについて意識できるよう工夫されている。</p>	<p>○巻末資料として語順カードやWord Room、Small Talkなど学年に応じたコンテンツが収録されている。</p> <p>○現行の教科書に比べて内容のスリム化が図られており、単元の内容が精選されている。そのことにより、その他の活動に時間を充てることができる。</p>	<p>○各単元のゴールが明確に示されており、学習した内容を用いてまとめの活動ができるように構成されている点が特に優れている。</p> <p>○取り上げられている題材にSDGsや多様性など国際社会における重要な課題との関連がある点が特に優れている。</p>
I	<p>○1年生では1ページに書かれている文字や情報の量が多すぎず、また関連した写真やイラストが適切に配置されていることにより読みやすくなっている。</p> <p>○学年があがるごとに発達段階に応じた内容が取り上げられており、教科書で学んだ事柄が実社会につながるよう工夫されている。</p>	<p>○1年生の初めに小学校での既習事項が配置されており、中学校での学習にスムーズに入れるように工夫されている。</p> <p>○Unitが扉・Part・Goalの3点で構成され、Unitで学んだことを生かしながら単元の目標を具体化した活動ができるように工夫されている。</p>	<p>○各単元のストーリーが等身大の中学生の姿として描かれており、共感しやすい場面設定がなされている。</p> <p>○デジタルコンテンツにおける速度調節が可能であり、個別最適な生徒の学習支援につながっている。</p>	<p>○各学年に即興的なやりとりができる教材のLet's Talk!が入っており、授業で活用できるよう工夫されている。</p> <p>○巻頭のICTを活用しようや巻末の思考の地図など具体的な方法が記載されており、生徒の学習支援につながっている。</p>	<p>○実社会の言語使用場面で有用な表現を多く取り入れたDaily Lifeが各学年の要所に配置され、より実用性の高い表現を学べる場面が設定されている。</p> <p>○World Tourでは、多様な文化や価値観を同世代の中学生の視点から学ぶことができる場面が設定されている。</p>	<p>○各学年巻末に英語の学び方ガイドが収録されており、学習の仕方など学年に応じた内容でわかりやすく示されている。</p> <p>○コミュニケーション重視となっている。特に、「話すこと」「書くこと」において自分のことを伝える活動が教科書に組み込まれている。</p>	<p>○学校生活や日常生活を取り上げている題材が多く、生徒が興味関心をもって学習に取り組める点が優れている。</p> <p>○生徒が自分自身で学習を進めていくための支援につながる教材や資料が豊富である点が優れている。</p>